

9. 災害等報告書の作成事例について

この記載例では、大雨による浸水被害が生じたと仮定して災害報告書の作成方法を例示した。地図等の地名は実在の場所もあるが、報告書の内容は仮想のものである。

別添資料（1）（様式）

環 境 対 発 第 14xxxx 号
令和xx年 xx月 xx日

環境大臣 殿

〇〇市長 氏 名

災害等廃棄物処理事業の報告について

標記のことについて、令和 xx 年 x 月 x 日の台風第 12 号により下記のとおり被害を受けたので、報告します。

記

1. 災害等の概況

令和 xx 年 x 月 y 日に発生した台風第 12 号は、非常に強い勢力を維持したまま、x 日には〇〇地方に上陸、縦断した。その後、z 日には〇〇沖に抜けて温帯低気圧となった。

この台風第 12 号により、日本列島の太平洋側を中心に大雨となり、〇〇県〇〇市では、降り始めからの総雨量が 500mm を超え、また、24 時間最大雨量 121mm、1 時間に 20mm の猛烈な雨を観測した。この台風による大雨により、〇〇市では各地で浸水等の被害が発生するなど甚大な被害が発生した。

2. 全般的被害状況

市町村名	人 的 被 害			住 家 の 被 害					漂着ごみ 被害	備 考
	死 者	行方 不明	負 傷 者	全 壊	大規 模半 壊	半 壊	床 上 浸 水	床 下 浸 水		
	人	人	人	戸	戸	戸	戸	戸	m ³	
〇〇市	1	2	15	10	0	5	100	200	-	

- 3. 事業主体名 〇〇市
- 4. 事業区分 ごみ処理・し尿処理
- 5. 事業費見込額 130,000,000 円
- 6. 事業費算出内訳（別紙のとおり）
- 7. 添付資料
 - (1) 気象データ
 - (2) 行政区域図等
 - (3) 被災写真
 - (4) 災害廃棄物発生量の推計資料
 - (5) 事業費算出内訳の根拠資料

【ポイント】

- 事業区分は、「ごみ処理」「し尿処理」の区分を記載。
- 事業費見込額は、円単位で記載し、千円未満の端数もそのまま記載する（ここでは切り捨てしない）。

(別紙)

事業費算出内訳

事業区分	費用区分	員数	単価	金額	積算内訳
し尿処理	(直営分)		円	円	汲取家屋数 250戸 汲取量 2,700L
	燃料費	625L	160	100,000	62.5台×10L×@160円=100,000円
	手数料	18回	1,500	270,000	18台/回×@1,500円/150L=270,000円
【ポイント】 ○「委託」で実施する場合には委託料として計上する。 ○し尿くみ取りについては、便槽容量の2分の1が補助対象となる。					
	合計			370,000	

- (注) 1. 直営分、市町村及び一部事務組合への委託事業について、職員の超過勤務手当等の人件費は含まれないものであること。
2. 解体工事、仮置場及び土砂混じりがれきにかかる委託業務を除き、諸経費は計上しないこと。

【記載例 1 (契約ごとに内訳を作成する場合)】

(別紙)

事業費算出内訳

事業区分	費用区分	員数	単価	金額	積算内訳
			円	円	
ごみ処理	(直営分)				
	燃料費	1000L	160	160,000	延100台×10L×@160円=160,000円
	消耗品費	1式	500,000	500,000	内訳別紙○
	(委託分)				
	委託料	1式		2,500,000	(収集・運搬) ○○収集・運搬委託業務【1】
		1式		30,000,000	(中間処理) 災害廃棄物中間処理委託業務 (内訳) ○○株式会社【2】 ××××建設【3】
		1式		5,000,000	2次仮置場設置委託業務【4】
		1式		10,000,000	2次 運営委託業務【5】
		1式		5,000,000	2次仮置場管理撤去業務【6】
		1式		50,000,000	(処理) 可燃物処理委託業務【7】
	1式		15,000,000	不燃物処理委託業務【8】	
	1式		8,970,000	廃木材処理委託業務【9】	
	1式		2,500,000	廃家電処理委託業務【10】	
	合計			129,630,000	注【 】書きは事業費算出内訳の根拠資料のインデックス番号に一致する
	合計 (し尿処理+ ごみ処理)			130,000,000	

(注) 1. 直営分、市町村及び一部事務組合への委託事業について、職員の超過勤務手当等の人件費は含まれないものであること。

2. 解体工事、仮置場及び土砂混じりがれきにかかる委託業務を除き、諸経費は計上しないこと。

【記載例 2（費目ごとに単価と数量で計上する場合）】

（別紙）

事業費算出内訳

事業区分	費用区分	員数	単価	金額	積算内訳
			円	円	
ごみ処理	（直営分） 燃料費	1000L	160	160,000	延100台×10L×@160円=160,000円
	消耗品費	50枚	10,000	500,000	飛散防止シート 50枚×@10,000円
	（委託分） 委託料	○台		2,500,000	（収集・運搬） 2tトラック ○台×@50,000円
		○人		2,500,000	重機作業員 ○人×@20,000円
		○トン		15,000,000	（処理・処分費） 可燃物 ○トン×@18,000円
	合計			129,630,000	注【 】書きは事業費算出内訳の根拠資料のインデックス番号に一致する
	合計 （し尿処理 +ごみ処理 ）			130,000,000	

【ポイント】

- 事業費算出内訳の記載方法は2種類が想定される。
- 記載例1は、契約件数や総価契約が多い場合には記載例1の方が作成しやすい。また、記載例2は、単価契約が多い場合には記載例2の方が作成しやすい。
- 各市町村の契約状況等に応じて、適宜、作成方法を検討いただきたい（組み合わせ作成することでも差し支えない）。

（注）1. 直営分、市町村及び一部事務組合への委託事業について、職員の超過勤務手当等の人件費は含まれないものであること。

2. 解体工事、仮置場及び土砂混じりがれきにかかる委託業務を除き、諸経費は計上しないこと。

（5）添付資料5 事業費算出内訳根拠資料

(1) 添付資料1 気象データ (令和 xx 年 x 月 x 日〇時～〇時)

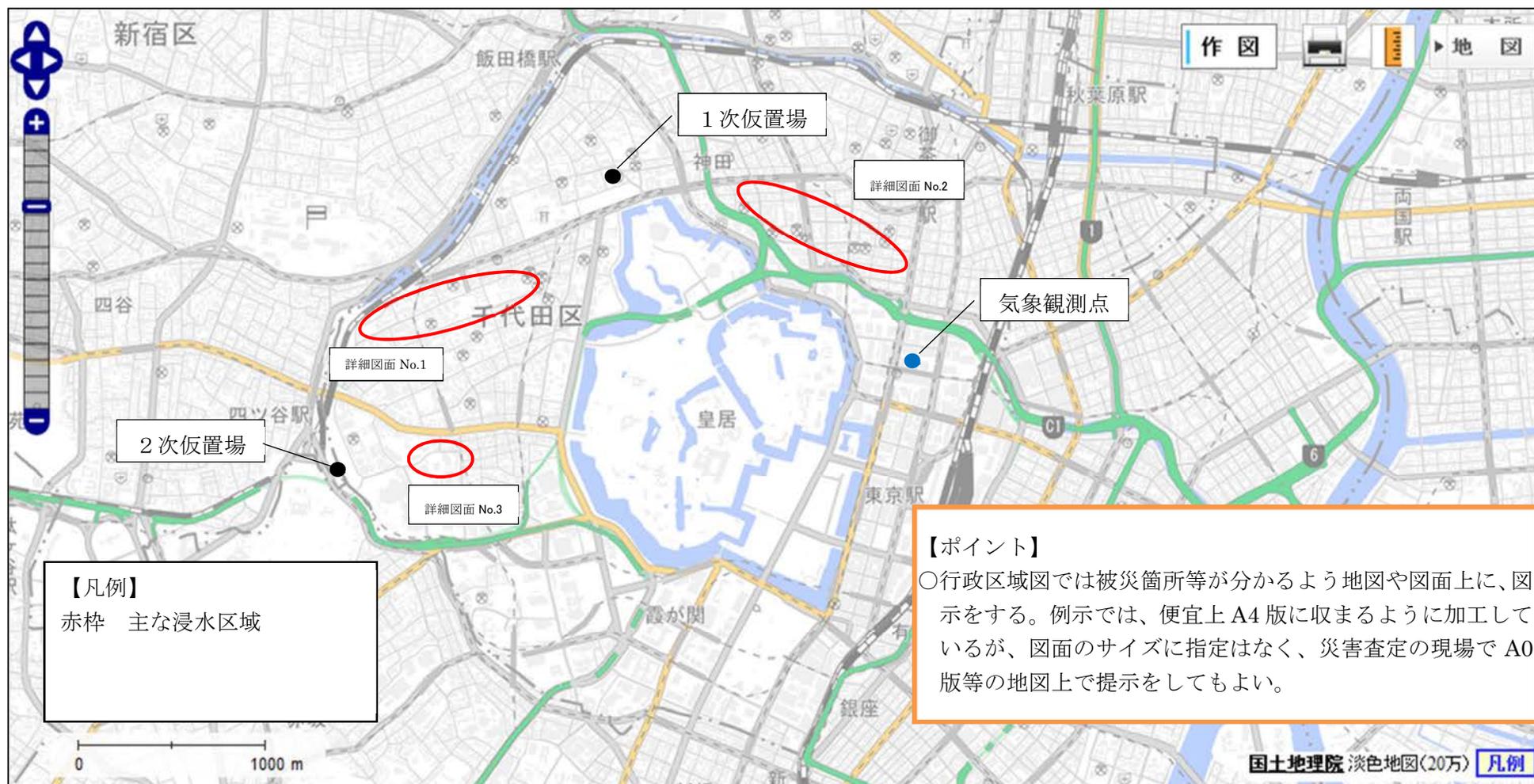
時	気圧(hPa)		降水量 (mm)	気温 (℃)	露点 温度 (℃)	蒸気圧 (hPa)	湿度 (%)	風向・風速(m/s)		日照 時間 (h)	全天 日射量 (MJ/m ²)	雪(cm)		天気	雲量	視程 (km)
	現地	海面						風速	風向			降雪	積雪			
1	989.6	998.8	3.0	18.0	17.2	19.6	95	9.3	北東					●		5.49
2	989.1	997.9	15.5	17.3	16.5	18.8	95	10.6	北東					●		4.65
3	988.3	997.1	9.0	16.9	16.1											3.63
4	987.1	995.9	5.0	16.8	15.8											10.1
5	987.1	995.9	4.0	16.5	15.5											4.77
6	986.7	995.5	13.5	16.1	15.1											2.40
7	987.2	996.0	18.0	15.7	14.8											4.80
8	988.1	996.9	20.0	15.3	14.5											3.06
9	987.6	996.4	13.0	15.1	14.2											3.18
10	987.6	996.4	7.5	14.9	14.0											4.69
11	988.9	997.7	3.5	14.8	13.7											5.60
12	989.4	998.3	4.0	14.6	13.5											3.48
13	990.4	999.3	1.5	14.4	13.3	15.3	93	9.1	北東	0.0				●		4.05
14	991.3	1000.2	1.5	14.5	13.2	15.2	92	8.5	北東	0.0				●		6.74
15	992.4	1001.3	1.0	14.2	12.9	14.9	92	7.7	北東	0.0				●		3.64
16	993.2	1002.1	0.5	13.9	12.6	14.6	92	7.6	北東	0.0				●		4.39
17	994.5	1003.4	0.5	13.8	12.5	14.5	92	4.5	東北東	0.0				●		8.42
18	995.5	1004.4	0.0	14.5	11.8	13.9	91	5.1	東					●		1.91
19	996.8	1005.7	0.0	14.0	12.6	14.5										0.00
20	997.4	1006.4	0.0	13.6	13.0	15.0										0.00
21	998.5	1007.5	0.0	13.6	12.7	14.6										0.00
22	998.9	1007.9	0.0	13.5	12.7	14.7										0.00
23	998.8	1007.7	—	14.4	11.9	13.9										0.00
24	998.7	1007.7	—	13.3	12.2	14.2										0.00

【ポイント】
 ○気象データで、災害の採択要件を満たしているかを確認するので、要件を満たしているのかわかるようなデータを添付する。記入例では1時から24時のデータとなっているが、始終期を問わず、24時間雨量が最大値になる部分を採用する

【ポイント】
 ○これまでは、気象データに原本証明を求めていたが、今後は不要とする。
 ○ただし、データの出典を必ず記載すること。

出典：気象庁 ○○観測点における観測データ

(2) 添付資料2 行政区域図



<地図の出典を記載>

詳細図面 No. 1

【ポイント】

○詳細図面では、被害範囲、戸数や写真撮影の位置及び撮影方向がわかるように図示をする。

